

良質な道路空間の形成

遮音壁の設置や低騒音舗装の敷設など道路構造対策を実施し、よりよい沿道環境にするための整備を行います。また、無電柱化を進め、災害に強い快適で美しい町並みをつくります。

沿道環境の改善

国道1号や保土ヶ谷バイパス沿線の騒音環境改善を目指します。

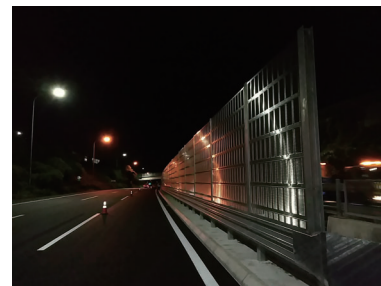
騒音に対する改善は、関係機関と連携し、道路交通にともなう騒音が要請限度を超える地域において、遮音壁の設置や嵩上げ、低騒音舗装の敷設を実施しています。

■計画の概要

対象路線	国道1号・16号 ・保土ヶ谷バイパス・246号
対象延長	約69.0km
車線数	2～6車線

令和6年度の事業

調査設計及び環境対策工を推進します。



二層式低騒音舗装(旭区中沢)上り線



二層式低騒音舗装(旭区中沢)上り線

■計画位置図



川崎1号環境整備

川崎市内の国道1号の沿道環境の改善を目指します。

川崎市内の国道1号における歩行環境、自動車交通の円滑化、大気・騒音環境の改善など、道路と沿道が一体となったゆとりある「みち」と「まち」づくりを進めるため、事業を推進しています。

現在、遠藤町交差点から都町交差点の工事を推進しています。

■計画の概要

計画区間	川崎市幸区小向仲野町～同区柳町
規格	第4種第1級
設計速度	60km/h
延長	約2.8km
車線数	6車線

■計画位置図



令和6年度の事業

調査設計及び工事を推進します。

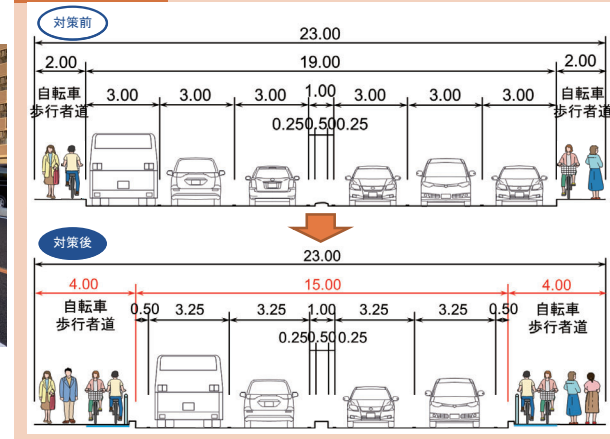


整備前



整備後

整備のイメージ



無電柱化(電線共同溝と共同溝)

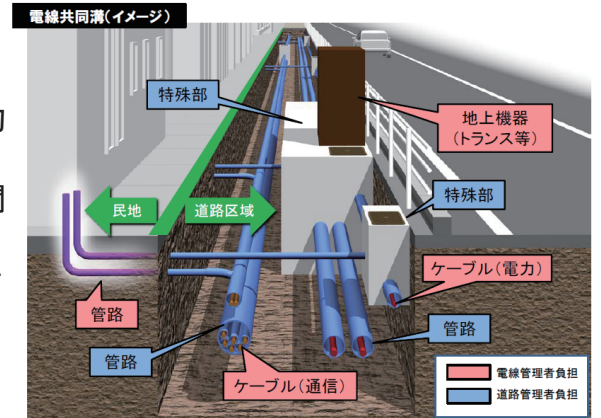
防災機能が向上し美しい街並みが形成されます。

■電線共同溝

無電柱化(電線共同溝の整備)事業は、防災機能向上、安全で快適な歩行空間の確保や良好な都市景観の形成などを目的とするものです。

横浜国道事務所では、橋梁やトンネル、幅員の狭い歩道空間を除いた約180kmについて無電柱化を推進する計画です。

これまでに約130kmの電線共同溝等が整備されており、引き続き無電柱化を進めていきます。



■共同溝

各種公益物件を効率的機能的に收容することで、道路の掘り返しを抑制し、円滑な道路交通の確保を図ることを目的とするものです。

横浜国道事務所では、管内50.3kmの維持管理を行っています。

■災害時の避難や救助活動の迅速・円滑化



■横浜国道事務所管内での整備事例

国道1号 小田原市国府津地区

令和6年度の事業

国道246号
大和市下鶴間 下鶴間(3)電線共同溝
国道357号
横浜市金沢区 福浦(2)電線共同溝
ほか36箇所
以上について、調査設計、本体工事(引込連系管路工事含む)等、無電柱化を推進します。



コラム:道路に関する新たな取り組みの現地実証実験(社会実験)の実施 ～ 国内初!EV充電器の公道設置に関する実証実験【横浜市】～

社会実験とは

国土交通省道路局では、社会的に影響を与える可能性のある道路施策の導入に先立って、関係行政機関、地域住民等の参加のもと、場所や期間を限定して当該施策を試行・評価し、もって新たな施策の展開と円滑に事業を執行することを目的とする『現地証実験(社会実験)』を、公募により平成11年度から実施しています。

これまでは主に

- ・歩行空間を拡大すること等により車優先の道路から歩行者や自転車優先の道路への再構築を図る実験
- ・オープンカフェ等の道路空間の多目的利用を図る実験
- ・パーク&ライド等を用いた公共交通機関の利用促進を図る実験
- ・路上や路外での荷捌き空間創出や駐車場への誘導により車両の駐車効率化を図る実験
- ・通り名位置番号方式による道案内を図る実験などの取り組みを行ってきました。

取組事例:EV充電器の公道設置に関する実証実験

横浜国道事務所管内では、横浜市において、全国で初めて公道上にEV充電器を設置し、公道に充電器を設置する際の課題や有効性について検証する実証実験の支援を行いました。利用回数は200回/月を超え、利用者アンケートでは利用者の9割以上が支持する結果となりました。

実証期間: 令和3年6月8日(火)17時～令和4年3月31日(木)

(令和4年度は横浜市独自の実証実験として継続)

実証場所: 横浜市青葉区しらとり台69付近

(神奈川県道140号川崎町田線沿い)

設置充電器: 急速充電器1基(2台同時充電可能)



概要図(出典:横浜市HP)



充電状況(出典:横浜市HP)